

文化的景観研究集会（第9回）

地域らしさを支える土木

—文化的景観における公共事業の整え方—

日程：2017年12月9日（土）～10日（日）

会場：京都府立大学 大学会館2階 多目的ホール（9日）

滋賀県東近江市と近江八幡市（10日）

主催：奈良文化財研究所 文化遺産部 景観研究室

12月9日（土）

- 12:30 受付開始
- 13:00～13:05 開会挨拶 中島 義晴（奈良文化財研究所 文化遺産部 景観研究室）
- 13:05～13:15 趣旨説明 上杉 和央（京都府立大学文学部 准教授）
惠谷 浩子（奈良文化財研究所 文化遺産部 景観研究室）
- 13:15～14:05 【報告1】 山口 敬太（京都大学大学院工学研究科 准教授）
「公共事業の調整と景観形成の事例」
- 14:05～14:55 【報告2】 徳永 哲（風景デザイン研究所 STEP 所長）
「地域らしさの持続へつなぐ景観整備」
- 14:55～15:15 【報告3】 松岡 貢（新上五島町建設課 係長）
「新上五島町における公共空間の景観づくり」
- 15:15～15:45 【報告4】 木下 健太郎（宇治市都市整備部 部長）
「土地利用規制と文化的景観の保全」
- 15:45～16:00 — 休憩 —
- 16:00～16:45 【ポスターセッション】
学術研究部門／地域計画部門／地域活動部門
- 16:45～17:45 【パネルディスカッション】
パネリスト：徳永 哲・松岡 貢・木下 健太郎
コメンテーター：西山 徳明（北海道大学大学院観光創造専攻 教授）
モデレーター：山口 敬太
- 17:45～18:00 ベストポスター賞授与式&閉会挨拶
- 18:15～20:15 情報交換会 会費：一般4,000円程度／学生2,000円程度
会場：Deli Cafe たまご 京都北山（京都府立大学学生食堂）

12月10日（日） エクスカーション「琵琶湖南東岸の水郷地帯」

9:00にJR近江八幡駅集合、マイクロバスに乗車して移動。伊庭の水郷集落（東近江市）と西の湖のヨシ生産・加工の現場を見学（近江八幡市）。16:00にJR近江八幡駅で解散。

参加申込・お問い合わせ先

別紙「参加申込書」に必要事項をご記入の上、FAX・郵送・メールにてご返信ください。会場の都合上、参加人数は先着100名、エクスカージョンは先着40名とします。情報交換会及びエクスカージョンは私費での参加となり、領収書は発行いたしません。申込締切は11月25日です。なお、定員数を超えて申込みいただいた場合のみご連絡いたします。当方から連絡のない場合は、当日会場に直接お越しください。なお、景観研究室HPにて追加の情報を掲載していきますので、随時ご覧ください。

【問合せ先】

独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所 文化遺産部景観研究室
〒630-8577 奈良県奈良市佐紀町247-1
TEL：0742-30-6816 FAX：0742-30-6841
E-mail：keikan@nabunken.go.jp
景観研究室HP：http://www.nabunken.go.jp/org/bunka/landscape.html

※景観研究室HPから本プログラムのPDFデータをダウンロードして頂けます。

ポスターセッション

ポスターセッションの開催にあたり、文化的景観に関わるポスターを募集します。応募要領等は別紙「ポスター募集のお知らせ」をご参照ください。なお、ポスター内容の事前審査をおこない、ベストポスター賞の授与も実施します。多くの皆様からのご応募をお待ちしています。

会場・集合場所

1日目(12月9日) 京都府立大学 大学会館2階 多目的ホール

地下鉄烏丸線「北山駅」下車、正門まで南へ約600m

2日目(12月10日) JR近江八幡駅改札口

京都駅よりJR琵琶湖線快速で約40分

